

スピーチロックゼロを目指して ひろがる笑顔の輪



特別養護老人ホーム 三幸の園

鈴木 善幸
磯部 勇樹

施設紹介



特別養護老人ホーム三幸の園 定員110名
短期入所施設三幸の園 定員20名
三幸の園デイサービスセンター 一般型30名 認知症型9名
三幸の園ホームヘルプステーション
訪問看護ステーション大平台
三幸の園指定居宅介護支援事業所
地域包括支援センター大平台

取り組みの背景



スピーチロックの現状(言葉)



スピーチロックの現状(理由)



スピーチロックに至る意識調査

- どのような時にスピーチロックをしてしまうのか
- スピーチロックになる言葉や行動とは
- 利用者様はどのように感じ、それによりどのようなことが起こるのか

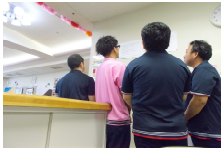
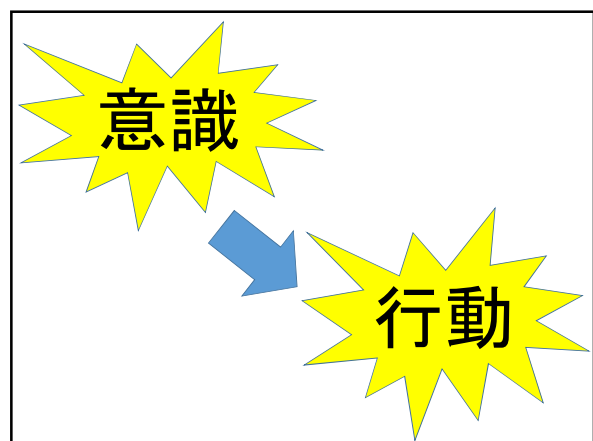
スピーチロックになる 言葉、行動、状況	対応策
相手の動きを制限する言動 「ちょっと待って！」 「危ない！座って！」	利用者様がなぜ、そのような 行動に及ぶのか理由を考え て行動する
気持ちが焦っている時 忙しい時、時間がない時	自分自身に心の余裕、時間 の余裕を持つ
険しい顔や、暗い顔で業務 をしている 言い切ってしまうような言動	表情や言葉遣いを改善して 声掛けしやすい環境作りを



①対応策の具体化<意識づけ>

☆着眼点

- ・職員間で声を掛け合い、連携を強化する
- ・利用者様が動き出したときには、まず傾聴する
- ・利用者様の行動に、制止するような言動はしない
- ・利用者様の行動を洞察し、常に「なぜ」を考える
- ・職員主体ではなく、利用者主体という事を意識する

②対応策の具体化<毎日復唱>

☆着眼点

- ・毎日対応策を復唱し、具体的な内容を追加する
- ・復唱時にも常に笑顔が心がる
- ・復唱時の声の大きさに注意する〈元気に〉



③対応策の具体化<言い換え>

☆着眼点

- ・言い換え一覧表を作成し、追加していく
- ・利用者様を思った声掛けを心がける

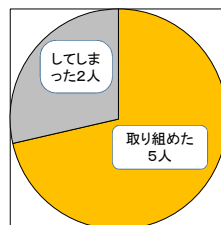
言い換え一覧表	
・ちょっと待って	⇒ ○○さんが行かれましたら一緒に行きますのでお待ちください。
・危ない、座って	⇒ ○○さん。どこにいかれますか？やさしい口調で傾聴する
・だめでしょ	⇒ ありがとうございます。○○してくれましたね。
・早く行きましょう	⇒ 急がなくていいですよ。ゆっくり行きましょう。
・先ほど伝えましたよ	⇒ 嫌な顔せず、何度でも伝える

自己評価・他フロアからの分析・課題

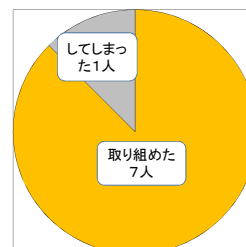
- ・毎日復唱する事により意識づけが高まった
- ・行動に対して「なぜ？」を考えるようになった
- ・傾聴することができるようになった
- ・言い換えられるようになってきた
- ・余裕がなく焦ってしまい、「ちょっと待って」と言ってしまう時がまだまだある為、職員の連携の強化が必要
- ・自分では気づかない時があり、職員間で注意し合う事が必要

自己評価

1回目

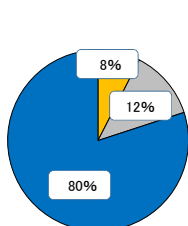


2回目

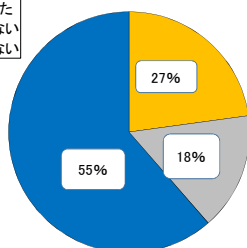


他フロアからの評価

1回目



2回目



■ 良くなった
 ■ 変わらない
 ■ 分からない

活動の成果

- ・意識付けができ、スピーチロックが減少したと感じる
- ・気持ちを考え、行動に対して理解できた
- ・共通言語ができ、職員間の連携が強化された
- ・利用者様から声を掛けてくれるようになった
- ・他フロアにおいても意識が高まった

今後の課題

意識の継続



スピーチロックを使用してしまう
状況や時間帯の具体化、常に改善
全フロアへ、水平展開の発信

～スピーチロックゼロへ～

ご静聴ありがとうございました

特別養護老人ホーム 三幸の園

